JW シリーズコンピュータ リンク SIO ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	7
3	通信設定例	8
4	設定項目	32
5	結線図	
6	使用可能デバイス	65
7	デバイスコードとアドレスコード	67
8	エラーメッセージ	69

はじめに

本書は表示器と接続機器を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		$W_{21}CM^{-1}$	RS422/485 (4 線式)	設定例1(6 ページ)	結線図 1 (37 ページ)
	JW-210011	J W-21CIVI	RS422/485 (2 線式)	設定例2(8 ページ)	結線図 2 (42 ページ)
		CPU ユニット上 の通信ポート	RS232C	設定例 3 (10ページ)	結線図 3 (47 ページ)
3002011			RS422/485 (4 線式)	設定例 4 (12 ページ)	結線図 4 (48 ページ)
	JW-22CUR	W MON 1	RS422/485 (4 線式)	設定例1(6 ページ)	結線図 1 (37 ページ)
		JW-21CM	RS422/485 (2 線式)	設定例2(8 ページ)	結線図 2 (42 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例1(6 ページ)	結線図 1 (37 ページ)
	JW-31CUH1	JW-21CM ¹	RS422/485 (2 線式)	設定例2(8 ページ)	結線図 2 (42 ページ)
	JW-32CUH1 JW-32CUM1 JW-32CUM2 JW-33CUH1 JW-33CUH2 JW-33CUH3	CPU ユニット上 の PG/COMM1	RS422/485 (4 線式)	設定例 5 (14 ページ)	結線図 5 (52 ページ)
JW30H		CPU ユニット上 の PG/COMM2	RS232C	設定例 6 (16ページ)	結線図 6 (56 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (18ページ)	結線図 5 (52 ページ)
		$W 21 C M^{-1}$	RS422/485 (4 線式)	設定例1(6 ページ)	結線図 1 (37 ページ)
		J W-21CIVI	RS422/485 (2 線式)	設定例2(8 ページ)	結線図 2 (42 ページ)
	IW 50CUH	WY LOOM	RS422/485 (4 線式)	設定例 8 (20ページ)	結線図 1 (37 ページ)
	JW-50CUH	JW-TOCIM	RS422/485 (2 線式)	設定例 9 (22ページ)	結線図 2 (42 ページ)
JW50H	ЈW-70СUН ЈW-100СUН	CPU ユニット上 の通信ポート	RS232C	設定例 10 (24 ページ)	結線図 3 (47 ページ)
JW100			RS422/485 (4 線式)	設定例 11 (26ページ)	結線図 7 (57 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 8 (20ページ)	結線図 1 (37 ページ)
		J W-10CIVI	RS422/485 (2 線式)	設定例 9 (22ページ)	結線図 2 (42 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
JW10	JW-1324K JW-1424K JW-1624K JW-1342K JW-1442K JW-1642K	基本モジュール 上の通信ポート	RS422/485 (2 線式)	設定例 12 (28 ページ)	結線図 8 (60 ページ)

1 リンクユニット JW-21CM のバージョンによっては使用できなかったり、使用範囲が制限されてい るものがありますので、ご注意ください。

ユニット正面の バージョンシール	使用制限事項
30Hn	使用制限なしで使用可能
30H	ファイルレジスタ 10 ~ 2C の読み書き不可 ファイルレジスタのアドレス 100000 ~ 176777 の読み書き不可
シールなし	JW30H シリーズでは使用不可

IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

S/11 - 7	使用可能ポート			
X	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)	
PS-2000B	COM1 ¹ , COM2, COM3 ¹ , COM4	-	-	
PS-3650A、PS-3651A	COM1 ¹	-	-	
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ¹ COM2 ¹ COM3 ² COM4	COM3 ²	COM3 ²	
PS-3711A	COM1 ¹ , COM2 ²	COM2 ²	COM2 ²	

1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、 以下のように設定してください。

ディップスイッチの設定:RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	OFF	·通信支式・BS 222C	
3	OFF	地后刀式 . KS-232C	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	- RS(RTS) 自動制御モード: 無効	
10	OFF		

ディップスイッチの設定:RS-422/485(4線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信古式・BS 422/485	
3	ON	□□/J1/ · K3-422/403	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	PS(PTS) 白動制御王 – ド・無効	
10	OFF		

ディップスイッチの設定: RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	(法) キャン・アロックション (195)	
3	ON	通信刀式、KS-422/483	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA)とRDA(RXA)の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	D 5 (D T 5) 白動制御王 _ ド・方効	
10	ON		

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

🏄 プロジェ	クトファイルの新規作成	×
接続機器		
メーカー	シャープ MS (株)	•
シリーズ	JW シリーズ コンピュータリンク SIO	▼
ロ シスラ	テムエリアを使用する	この接続機器のマニュアルを見る
──接続方法		
ボート	COM1	
		渡器接続マニュアルへ
	戻る通信の詳細設定	画面作成 キャンセル

設定項目	設定内容
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「シャープ MS ㈱」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「JW シリーズコ ンピュータリンク SIO」を選択します。 「JW シリーズコンピュータリンク SIO」で接続できる接続機器はシステム構成で 確認してください。 ^(PP) システム構成(3ページ)
システムエリアを使用 する	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用)」
	参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「5.14.6[システム設定ウィンドウ] の設定ガイド [本体設定]の設定ガイド システムエリア設定」
	参照:保守/トラブル解決ガイド「2.14.1 表示器共通」 [本体設定]の設定ガ イド システムエリア設定
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

```
3.1 設定例 1
```

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1				
概理	Ē.				接続機器変更
	~ メーカー シャープ MS	(株)	 シリーズ [JW :	シリーズ コンピュータリンク SIO	ポート COM1
	文字列データモード	2 変更			
通	言設定				
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線;	式) 💿 RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•		
	データ長	• 7	C 8		
	パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
	ストップビット	01	• 2		
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	β 📑 (s	sec)		
	リトライ	2 🗄			
	送信ウェイト	P 🗄 6	ms)		
[RI / VCC	© RI	C VCC		
	RS232Cの場合、94	野ビンをRI(入力)に	:するかVCC(5V電源供	給)	
	にするかを選択でき。 トを使用する場合は	ます。デジタル製R& t、VCCを選択して	S232Cアイソレーションコ ください。		
機者	語別設定	_			
	接続可能台数 16台	100	12字		
				5tr)-1	
				(X/-1	

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の mm([設定]) をクリックします。



接続機器の設定

リンク I/F のロータリスイッチで設定します。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。 スイッチの設定後、接続機器の電源を再投入することで設定が有効となります。

機能設定スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容	
SW0	4	通信方式:コンピュータリンク	

局番設定スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容
SW2 (x10)	0	局番設定:局番の上位を設定
SW1 (x1)	1	局番設定:局番の下位を設定

• 局番は SW2 と SW1 で 01 ~ 37 (o)の範囲で設定してください。

動作モード設定スイッチ

ディップスイッチ	設定値	設定内容
SW3-1	OFF	予約
SW3-2	ON	通信線数:4線式
SW3-3	OFF	予約
SW3-4	ON	パリティ:偶数

伝送速度設定スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容
SW4	0	伝送速度:19200 bps

終端抵抗スイッチ

ディップスイッチ	設定値	設定内容
SW7	ON	終端抵抗の挿入:ON することで終端抵抗が挿入されます。 終端の接続機器のみ ON してください。

ユニット番号スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容
SW8	0	子局 01 ~ 04 のデータメモリアドレスを設定

3.2 設定例 2

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー 🗄	フャープ MS (株)	シリーズ JW シリーズ コンピュータリンク SIO ポート	COM1
文字列デ	ータモード 2 <u>変更</u>		
通信設定			
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	×	
データ長		C 8	
パリティ	○ なし	 ・ 偶数 ○ 奇数 	
ストップビッ	Ь O1	• 2	
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	. β 🗄	esc)	
リトライ	2 🗄	Ξ	
送信ウェイ	۲ P		
RI / VCC	💿 RI	C VOC	
RS2320 (こするか)	の場合、9番ピンをRI(入ナ を選択できます。デジタル舞	カ)にするか VCC(5)(電源供給) 製RS232Cアイソレーションユニッ	
トを使用	する場合は、VCCを選択	(してんたさい)。 初期語文定	
機器別設定			
接続可能	台数 16台 📷 郵号名	EA-	

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。



接続機器の設定

リンク I/F のロータリスイッチで設定します。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。 スイッチの設定後、接続機器の電源を再投入することで設定が有効となります。

機能設定スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容	
SW0	4	通信方式:コンピュータリンク	

局番設定スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容
SW2 (x10)	0	局番設定:局番の上位を設定
SW1 (x1)	1	局番設定:局番の下位を設定

MEMO 局番はSW2とSW1で01~37(o)の範囲で設定してください。

動作モード設定スイッチ

ディップスイッチ	設定値	設定内容
SW3-1	OFF	予約
SW3-2	OFF	通信線数:2線式
SW3-3	OFF	予約
SW3-4	ON	パリティ:偶数

伝送速度設定スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容
SW4	0	伝送速度:19200 bps

終端抵抗スイッチ

ディップスイッチ	設定値	設定内容
SW7	ON	終端抵抗の挿入:ON することで終端抵抗が挿入されます。 終端の接続機器のみ ON してください。

ユニット番号スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容
SW8	0	子局 01 ~ 04 のデータメモリアドレスを設定

3.3 設定例 3

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	(終器1)		
概要	Ē		接続機器変更
	メーカー ジャープ MS	(株)	シリーズ JW シリーズ コンピュータリンク SIO ポート COM1
	文字列データモード	2 <u>変更</u>	
通信	設定		
	通信方式	RS232C	C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	▼.
	データ長	• 7	© 8
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	01	• 2
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 🔆 (sec)
	リトライ	2 :	
	送信ウェイト	0 🗄 (ns)
	RI / VCC	• RI	C VCC
	RS232Cの場合、9種 にするかを避けでき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	するかVCCはV電源供給) 2020アイバルージョンコニッ
	トを使用する場合は	、VCCを選択して	(ださい。 初期設定
機器	別設定		
	接続可能台数 16台	111	
	No. 機器名		設定
			TID LAD A CONTRACT

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。



接続機器の設定

接続機器のシステムメモリのビットを ON または OFF して設定します。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

通線設定終了後、接続機器の電源を再投入することで設定が有効となります。

#236 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#236	30(H)	通信設定。16 進数で入力します。 各ビットの内容は下記のとおりです。

• ビットの内容

システムエリアの ビット	設定値	設定内容	
D0	OFF		
D1	OFF	伝送速度:19200 bps	
D2	OFF		
D3	OFF		
D4	ON	ハウノ 1 ・ IF395X	
D5	ON	ストップビット:2 bits	
D6	OFF	常時 OFF	
D7	OFF	常時 OFF	

#237 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#237	1(o)	局番設定。8進数で入力します。

3.4 設定例 4

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器	\$1		
概要			<u>接続機器変更</u>
×-	-カー シャープ MS・	(株)	シリーズ JW シリーズ コンピュータリンク SIO ポート COM1
文章	字列データモード 「	2 <u>変更</u>	
通信設定	定		
通	信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
通	信速度	19200	T
デー	一夕長	⊙ 7	C 8
739	リティ	○ なし	 · 偶数 · · ·
자	~ップビット	C 1	@ 2
70]一制御	○ なし	ER(DTR/CTS) O XON/XOFF
タイ	(ፊዎウト	3 : (s	(sec)
ባት	·51	2 📑	
送	信ウェイト	0 <u>:</u> (n	(ms)
RI	/ VCC	🗇 RI	C VCC
R	RS232Cの場合、9番	ピンをRI(入力)になって、 す。デジカル制度の	とするかVCC(5/で源供給) 25230Cマイリレージョンコニッ
ĥ	を使用する場合は、	VCCを選択してく	(ださい。 初期設定
機器別調	設定		
接續	続可能台数 16台	111	
	No. 機器名 】 1 ┏гс1		設定
di la constante di la constant			In the overall the

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。



接続機器の設定

接続機器のシステムメモリのビットを ON または OFF して設定します。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

通線設定終了後、接続機器の電源を再投入することで設定が有効となります。

#236の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#236	30(H)	通信設定。16 進数で入力します。 各ビットの内容は下記のとおりです。

ビットの内容

システムエリアの ビット	設定値	設定内容	
D0	OFF		
D1	OFF	伝送速度:19200 bps	
D2	OFF		
D3	OFF	パリティ・伊物	
D4	ON		
D5	ON	ストップビット:2 bits	
D6	OFF	常時 OFF	
D7	OFF	常時 OFF	

#237 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#237	1(0)	局番設定。8 進数で入力します。

終端抵抗スイッチ

ディップスイッチ	設定値	設定内容		
SW1	ON	終端抵抗の挿入:ON することで終端抵抗が挿入されます。 終端の接続機器のみ ON してください。		

3.5 設定例 5

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器	\$1		
概要			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
×-	-カー シャープ MS	(株)	シリーズ JW シリーズ コンピュータリンク SIO ポート COM1
文	字列データモード 「	2 <u>変更</u>	
通信設定	定		
通	信方式	O RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
通	信速度	19200	T
デー	一々長	⊙ 7	C 8
79.	ティ	○ なし	 • 偶数 ○ 奇数 · · ·
자	~ップビット	0.1	2 2
70]一制御	○ なし	ER(DTR/CTS) XON/XOFF
\$1	(ፊዎウト	β <u></u> : (s	(sec)
ካኮ	. 51	2 🗄	
送	信ウェイト	0 🕂 (n	(ms)
RI	/ VCC / VCC	© RI PyをRI(入力)(-)	○ V00 するかい00(5)(要項(供給))
	はそのかを選択できま 、を使用する場合は、	す。デジタル製RS VCCを選択してく	252270アイソレーションユニッ てください。 初期時度定
機器別	設定		
接	続可能台数 16台	111	
V	No. 機器名		設定
do l			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💣 個別機器	×	
PLC1		
局番(8進数)	1	:
		初期設定
OK(<u>O</u>)		キャンセル

接続機器の設定

接続機器のシステムメモリのビットを ON または OFF して設定します。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

通線設定終了後、接続機器の電源を再投入することで設定が有効となります。

#234 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#234	30(H)	通信設定。16 進数で入力します。 各ビットの内容は下記のとおりです。

ビットの内容

システムエリアの ビット	設定値	設定内容
D0	OFF	
D1	OFF	伝送速度:19200 bps
D2	OFF	
D3	OFF	
D4	ON	1 ハリティ 1 内奴
D5	ON	ストップビット:2 bits
D6	OFF	常時 OFF
D7	OFF	常時 OFF

#235 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#235	1(0)	局番設定。8進数で入力します。

3.6 設定例 6

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1		
概要	Ę		接続機器変更
	メーカー シャープ MS	(株)	シリーズ JW シリーズ コンピュータリンク SIO ポート COM1
	文字列データモード	2 <u>変更</u>	
通信	設定		
	通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	V
	データ長	• 7	0.8
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	01	© 2
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 🔅 (sec)
	リトライ	2 🔅	
	送信ウェイト	0 🔆 (ms)
	RI / VCC	• RI	C VCC
	RS232Cの場合、9種 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	こするかVCC伝V電源供給) \$2326アイソルーションコニッ
	ドを使用する場合は	、Vocを選択して	ください。 初期間没定
機器	別設定		
	接続可能台数 16台	111	=1,
	No. 機器名		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
	40 1		

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定 🛛 🗙				
PLC1				
局番(8進数)	1			
		初期設定		
OK (<u>O</u>)		キャンセル		

接続機器の設定

接続機器のシステムメモリのビットを ON または OFF して設定します。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

通線設定終了後、接続機器の電源を再投入することで設定が有効となります。

#236 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#236	30(H)	通信設定。16 進数で入力します。 各ビットの内容は下記のとおりです。

ビットの内容

システムエリアの ビット	設定値	設定内容
D0	OFF	
D1	OFF	伝送速度:19200 bps
D2	OFF	
D3	OFF	
D4	ON	
D5	ON	ストップビット:2 bits
D6	OFF	常時 OFF
D7	OFF	常時 OFF

#237 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#237	1(o)	局番設定。8進数で入力します。

3.7 設定例 7

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機	· 器1		
概要			接続機器変更
2	メーカー シャープ MS	(株)	シリーズ JW シリーズ コンピュータリンク SIO ポート COM1
:	文字列データモード	2 <u>変更</u>	
通信	設定		
÷	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
÷	通信速度	19200	V
-	データ長	7	O 8
,	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ● 奇数
;	ストップビット	O 1	@ 2
-	フロー制御	○ なし	
:	タイムアウト	β 🔆 (s	(sec)
ļ	リトライ	2 🔅	
÷	送信ウェイト	р 📑 (n	(ms)
	RI / VCC	© RI	O VOG
	RS232Cの場合、9番 (こするかを選択できる	ピンをRI(入力)に は。デジタル製RS	:するかVCC(5)V電源供給) S232Cアイソレーションユニッ
	L.CIXH 30-9219	、いいを進択しい	·//cCV//// 初期設定
機器	別設定		
-	接続可能台数 16台 No. 機器名	100	設定
[👗 1 PLC1		局番 (8)進数)=1

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。



接続機器の設定

接続機器のシステムメモリのビットを ON または OFF して設定します。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

通線設定終了後、接続機器の電源を再投入することで設定が有効となります。

#236 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#236	30(H)	通信設定。16進数で入力します。 各ビットの内容は下記のとおりです。

ビットの内容

システムエリアの ビット	設定値	設定内容
D0	OFF	
D1	OFF	伝送速度:19200 bps
D2	OFF	
D3	OFF	
D4	ON	ハリティ、両致
D5	ON	ストップビット:2 bits
D6	OFF	常時 OFF
D7	OFF	常時 OFF

#237 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#237	1(0)	局番設定。8進数で入力します。

3.8 設定例 8

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機	· 器1		
概要			接続機器変更
2	メーカー シャープ MS	(株)	シリーズ JW シリーズ コンピュータリンク SIO ポート COM1
:	文字列データモード	2 <u>変更</u>	
通信	設定		
÷	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
÷	通信速度	19200	V
-	データ長	7	O 8
,	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ● 奇数
;	ストップビット	O 1	@ 2
-	フロー制御	○ なし	
:	タイムアウト	β 🔆 (s	(sec)
ļ	リトライ	2 🔅	
÷	送信ウェイト	р 📑 (n	(ms)
	RI / VCC	© RI	O VOG
	RS232Cの場合、9番 (こするかを選択できる	ピンをRI(入力)に は。デジタル製RS	:するかVCC(5)V電源供給) S232Cアイソレーションユニッ
	L.CIXH JONELY	、いいを進択しい	·//cCV//// 初期設定
機器	別設定		
-	接続可能台数 16台 No. 機器名	100	設定
[👗 1 PLC1		局番 (8)進数)=1

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💣 個別機器	贵定	×
PLC1		
局番(8進数)	1	=
		初期設定
OK(<u>O</u>)		キャンセル

接続機器の設定

リンク I/F のロータリスイッチで設定します。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。 スイッチの設定後、接続機器の電源を再投入することで設定が有効となります。

機能設定スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容
SW0	4	通信方式:コンピュータリンク

ステーションアドレス設定スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容
SW2	0	局番設定:局番の上位を設定
SW1	1	局番設定:局番の下位を設定

MEMO 局番はSW2とSW1で01~37(o)の範囲で設定してください。

動作モード設定スイッチ

ディップスイッチ	設定値	設定内容
SW3-1	OFF	予約
SW3-2	ON	通信線数:4 線式
SW3-3	OFF	予約
SW3-4	ON	パリティ:偶数

伝送速度設定スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容
SW4	0	伝送速度:19200 bps

終端抵抗スイッチ

ディップスイッチ	設定値	設定内容
SW7	ON	終端抵抗の挿入:ON することで終端抵抗が挿入されます。 終端の接続機器のみ ON してください。

3.9 設定例 9

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー 🗄	フャープ MS (株)	シリーズ JW シリーズ コンピュータリンク SIO ポート	COM1
文字列デ	ータモード 2 <u>変更</u>		
通信設定			
通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	×	
データ長		C 8	
パリティ	○ なし	 ・ 偶数 ○ 奇数 	
ストップビッ	Ь O1	• 2	
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	. β 🗄	esc)	
リトライ	2 🗄	Ξ	
送信ウェイ	۲ P		
RI / VCC	💿 RI	C VOC	
RS2320 (こするか)	の場合、9番ピンをRI(入ナ を選択できます。デジタル舞	カ)にするか VCC(5)(電源供給) 製RS232Cアイソレーションユニッ	
トを使用	する場合は、VCCを選択	(してんたさい)。 初期語文定	
機器別設定			
接続可能	台数 16台 📷 郵号名	EA-	

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。



接続機器の設定

リンク I/F のロータリスイッチで設定します。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。 スイッチの設定後、接続機器の電源を再投入することで設定が有効となります。

機能設定スイッチ

ロータリスイッチ	設定値		設定内容	
SW0	4	通信方式:コンピュータリンク		

ステーションアドレス設定スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容
SW2	0	局番設定:局番の上位を設定
SW1	1	局番設定:局番の下位を設定

MEMO 局番はSW2とSW1で01~37(o)の範囲で設定してください。

動作モード設定スイッチ

ディップスイッチ	設定値	設定内容
SW3-1	OFF	予約
SW3-2	OFF	通信線数:2線式
SW3-3	OFF	予約
SW3-4	ON	パリティ:偶数

伝送速度設定スイッチ

ロータリスイッチ	設定値	設定内容
SW4	0	伝送速度:19200 bps

終端抵抗スイッチ

ディップスイッチ	設定値	設定内容
SW7	ON	終端抵抗の挿入:ON することで終端抵抗が挿入されます。 終端の接続機器のみ ON してください。

3.10 設定例 10

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	機器1		
概要	Ē		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー シャープ MS	(株)	シリーズ JW シリーズ コンピュータリンク SIO ポート COM1
	文字列データモード	2 <u>変更</u>	
通信	設定		
	通信方式	RS232C	C RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	▼.
	データ長	• 7	0.8
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	01	• 2
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 🔆 (sec)
	リトライ	2 :	
	送信ウェイト	0 🗄 (ns)
Γ	RI / VCC	• RI	© VCC
	RS232Cの場合、9者 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	するかVCC5V電源供給) 2020アイソルージョンコニッ
	トを使用する場合は	、VCCを選択して	(ださい。 初期設定
機器	影殿定		
	接続可能台数 16台	10	
	No. 機器名		設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。



接続機器の設定

接続機器のシステムメモリのビットを ON または OFF して設定します。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

通線設定終了後、接続機器の電源を再投入することで設定が有効となります。

#0236 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#0236	30(H)	通信設定。16 進数で入力します。 各ビットの内容は下記のとおりです。

• ビットの内容

システムエリアの ビット	設定値	設定内容
D0	OFF	
D1	OFF	伝送速度:19200 bps
D2	OFF	
D3	OFF	
D4	ON	
D5	ON	ストップビット:2 bits
D6	OFF	常時 OFF
D7	OFF	常時 OFF

#0237の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#0237	1(o)	局番設定。8進数で入力します。

3.11 設定例 11

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1		
概要		接続機器変更
メーカー シャープ MS	(株)	シリーズ JW シリーズ コンピュータリンク SIO ポート COM1
文字列データモード	2 <u>変更</u>	
通信設定		
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ④ RS422/485(4線式)
通信速度	19200	▼.
データ長	• 7	© 8
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビット	01	• 2
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウト	3 🗄 6	sec)
リトライ	2 🔅	
送信ウェイト	0 🔆 (ns)
RI / VCC	© RI	C VCC
RS232Cの場合、9番 にするかを選択できま	番ピンをRI(入力)に ます。 デジタル製Ri	するかVCC6V電源供給) 5232Cアイソレーションユニッ
トを使用する場合は	、VOCを選択して	(ださい)。 初期現金
機器別設定	_	
接続可能台数 16台 No 機器々	100	
1 PLC1		■ 2×2 局番(8)進数)=1

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。



接続機器の設定

接続機器のシステムメモリのビットを ON または OFF して設定します。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

通線設定終了後、接続機器の電源を再投入することで設定が有効となります。

#0236の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#0236	30(H)	通信設定。16 進数で入力します。 各ビットの内容は下記のとおりです。

ビットの内容

システムエリアの ビット	設定値	設定内容
D0	OFF	
D1	OFF	伝送速度:19200 bps
D2	OFF	
D3	OFF	
D4	ON	
D5	ON	ストップビット:2 bits
D6	OFF	常時 OFF
D7	OFF	常時 OFF

#0237 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#0237	1(o)	局番設定。8進数で入力します。

終端抵抗スイッチ

終局には終端抵抗を入れてください。接続機器側ポートの6番ピンと13番ピンを接続することで終端抵抗が入ります。

3.12 設定例 12

GP-Pro EX の設定

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続	態器1		
概要	Ī		接続機器変更
	メーカー ジャープ MS	(株)	シリーズ JW シリーズ コンピュータリンク SIO ポート COM1
	文字列データモード	2 <u>変更</u>	
通信	設定		
	通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) C RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	•
	データ長	⊙ 7	© 8
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	O 1	• 2
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 🔆 🤅	sec)
	リトライ	2	
	送信ウェイト	p 🗄 G	ms)
	RI / VCC	💿 RI	O VCC
	RS232Cの場合、9番 にするかを選択でき	身ピンをRI(入力)に ます。 デジタル製成	;するかVCC6V電源供給) 5232Cアイソレージョンコニッ
	ドを使用する場合は	、VCCを選択して	ください。初期設定
機器	閉設定		
	接続可能台数 16台	THE .	=2,
	No. (機研)名		
	00 1/ 201		

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。



接続機器の設定

接続機器のシステムメモリのビットを ON または OFF して設定します。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

通線設定終了後、接続機器の電源を再投入することで設定が有効となります。

#234 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#234	00(H)	通信モードの設定:コンピュータリンク

#236の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#236	30(H)	通信設定。16 進数で入力します。 各ビットの内容は下記のとおりです。

• ビットの内容

システムエリアの ビット	設定値	設定内容	
D0	OFF		
D1	OFF	伝送速度:19200 bps	
D2	OFF		
D3	OFF		
D4	ON	1/1/1 1 回致	
D5	ON	ストップビット:2 bits	
D6	OFF	常時 OFF	
D7	OFF	データ長:7 bits	

#237 の設定

設定エリア	設定値	設定内容
#237	1(o)	局番設定。8 進数で入力します。

終端抵抗スイッチ

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
SW7	ON	終端抵抗の挿入:ON することで終端抵抗が挿入されます。 終端の接続機器のみ ON してください。	

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

4.1 GP-Pro EX での設定項目

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 「シャープ M	S (株)	シリーズ JV	V シリーズ コンピュータリンク SIC) ポート COM1
文字列データモード	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	RS232C	〇 RS422/485(2制	泉式) 〇 RS422/485(4線	()
通信速度	19200	-		
データ長	• 7	C 8		
パリティ	○ なし	④ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	O 1			
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	3 .	(sec)		
リトライ	2 🔅			
送信ウェイト	p 🔆	(ms)		
RI / VCC	• RI	C VCC		
RS232Cの場合、9 にするかを選択でき)番ピンをRI(入力)(ます。デジタル制度	こするかVCC(5V電源 RS232Cマイハルーション	供給)	
トを使用する場合	は、VCCを選択して	てください。	マエニッ 初期語	定
機器別設定				
接続可能台数 16台				
No. 機器名			231) J	
I PLC1			進安以2=1	

設定内容		
接続機器と通信する通信方式を選択します。		
接続機器と表示器間の通信速度を選択します。		
データ長を選択します。		
パリティチェックの方法を選択します。		
ストップビット長を選択します。		
送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。		
表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。		

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0 ~ 255」で入力します。
RI/VCC	9番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

<i>爹</i> 個別機器設定	= ×
PLC1	
局番(8)進数) 1	
	初期設定
OK(<u>O</u>)	キャンセル

設定項目	設定内容		
号機 No.	接続機器の号機 No. を「01 ~ 37」(8進数)で入力します。 MEMO ・ JW10 シリーズを接続している場合は「0 ~ 77」(8進数)で入力します。		

4.2 オフラインモードでの設定

参照:保守/トラブル解決ガイド「2.2オフラインモードについて」

通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。



設定項目	設定内容		
	接続機器と通信する通信方式を選択します。		
通信方式	重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。シリアルインターフェイスが対応していな い通信方式を選択した場合の動作は保証できません。シリアルインターフェイス の仕様については表示器のマニュアルを参照してください。		
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。		
データ長	データ長を選択します。		
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。		
ストップビット	ストップビット長を選択します。		
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。		
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。		

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
JWシリーズコンヒ	ニュータリンク SIO		[COM1]	Page 1/1
接続機	器名 PLC	1		_
	局番(8進数)		1 🔻 🔺	J
	終了		戻る	2006/06/01 16:03:59

設定項目	設定内容		
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])		
号機 No.	接続機器の号機 No. を「01 ~ 37」(8進数)で入力します。 MEMO ・ JW10 シリーズを接続している場合は「0 ~ 77」(8進数)で入力します。		

オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。



設定項目 設定内容		
RI/VCC	9番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。	

5 結線図

以下に示す結線図とシャープマニファクチャリングシステム㈱が推奨する結線図が異なる場合があり ますが、本書に示す結線図でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) IPC ²	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ³ (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長: 1000m 以内
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

- A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





- B. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



C.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)(株)デジタル製コネクタ端子台変換 アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合

接続機器側 表示器側 -ルド 端子台 終端抵抗 信号名 信号名 220 Ω (1/4W) 表示器 RDA L1 CA4-ADPONL-01 RDB L2 SDA L3 CA3-ADPTRM-01 ≥ SDB L4 終端抵抗 SG シールド 220 Ω (1/4W) FG FG SW7: ON

1:n 接続の場合



D.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



自作ケーブル



結線図 2

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2)	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ² (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長: 1000m 以内
	D	(株)デジタル製オンラインアタフタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ³	A	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	В	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

3 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ⁽²⁾ IPC の COM ポートについて (5ページ)

- A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





- B. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





D.(株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



自作ケーブル



- E. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



F. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





結線図3

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP (COM1) IPC ¹	自作ケーブル	ケーブル長: 15m 以内

1 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 『アン IPC の COM ポートについて (5ページ)

表示器側 D-Sub 9ピン (ソケット)				接続 D-Sub 15ビ	機器側 'ン(プラグ)
	ピン	信号名		ピン	信号名
	2	RD(RXD)		2	SD
表示器	3	SD(TXD)		3	RD
	4	ER(DTR)		5	CTS
	5	SG		7	SG
	8	CS(CTS)	▲	4	RTS
	6	DR(DSR)		12	
	7	RS(RTS)		14	
	シェル	FG	<u>\</u>	1	FG

結線図 4

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) IPC ²	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	B 自作ケーブル	
GP ³ (COM2)	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長: 1000m 以内
	D (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 『ア IPC の COM ポートについて (5ページ)

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

A.(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



B. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



D.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

結線図 5

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) IPC ²	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	B 自作ケーブル	
GP ³ (COM2)	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長: 1000m 以内
	D (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

МЕМО	•	接続機器側のピン番号 2、4、8、12 には何も接続しないでください。
	•	接続機器側のピン番号 14 および 15 は電圧 +5V のため接続しないでください。

- A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





- B. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



 1:n 接続の場合 表示器側 接続機器側 接続機器側 D-Sub9ピン (ソケット) ールド D-Sub15ピン(プラグ) -ルド D-Sub15ピン (プラグ) 信号名 ピン ピン 信号名 ピン 信号名 1 RDA 3 SD(+) 3 SD(+) RDB 2 11 SD(-) 11 SD(-) 表示器 9 RD(+) 9 RD(+) SDA 3 10 10 SDB RD(-) RD(-) 7 5 SG 1 FG 1 FG ERA 4 8 CSA 9 ERB 6 CSB シェル FG

 C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





D.(株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



自作ケーブル

1:n 接続の場合



自作ケーブル

結線図6

Г

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP (COM1) IPC ¹	自作ケーブル	ケーブル長: 15m 以内

1 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 『アン IPC の COM ポートについて (5ページ)

表示器側 D-Sub 9ピン (ソケット) シールド				接続機器側 D-Sub 15ピン(プラグ)		
	ピン	信号名		ピン	信号名	
	2	RD(RXD)	← ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	2	SD	
表示器	3	SD(TXD)		4	RD	
	4	ER(DTR)		12	CTS	
	5	SG		7	SG	
	8	CS(CTS)		8	RTS	
	6	DR(DSR)		1	FG	
	7	RS(RTS)				
	シェル	FG				

結線図 7

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) IPC ²	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	В	自作ケーブル	
GP ³ (COM2)	С	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長: 1000m 以内
	D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

- B. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

- D.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



自作ケーブル

• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

結線図 8

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2)	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ² (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長: 1000m 以内
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ³	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

3 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ⁽²⁾ IPC の COM ポートについて (5ページ)

- A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





- B. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



C.(株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合 ٠



 1:n 接続の場合 ٠



自作ケーブル

D.(株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





- E. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



F. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。使用できるデバイスの種類、範囲は CPU に よって異なる場合があります。ご使用になられる前に、各 CPU のマニュアルでご確認ください。

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
リレー 1	0000.0-1577.7	A0000-A1576 (<u> </u>
	2000.0-7577.7	A2000-A7576 (
タイマ(接点)	T0000-T1777	-		<u>oct</u> 8]
カウンタ(接点)	C0000-C1777	-		ост 8]
タイマ・カウンタ (現在値) ¹	-	B0000-B3776 (b0000-b3776)		÷ 2] 00078)
		T0000-T3776		<u>ві t15</u>]
	-	09000-09776		
	-	19000-19776		
	-	29000-29776		
	-	39000-39776		
	-	49000-49776	СЛ	
	-	59000-59776		
	-	69000-69776		
	-	79000-79776		
1 2 4	-	89000-89776		÷ 2] [0678]
	-	99000-99776		<u>ві t15</u>]
	-	E0000-E0776		
	-	E1000-E1776		
	-	E2000-E2776		
	-	E3000-E3776		
	-	E4000-E4776		
	-	E5000-E5776		
	-	E6000-E6776		
	-	E7000-E7776		

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32 bit	備考
ファイルレジスタ ²	-	1000000-1177776		
	-	2000000-2177776		
			-	÷ 2) ⊙ст8) в⊤15
	-	6000000-6177776		
	-	7000000-7177776		
	-	F10000000-F10177776		
	-	F11000000-F11177776	[L/H]	
	- F1E - F1E	F1E000000-F1E177776		
		F1F000000-F1F177776		
	-	- F2000000-F20177776		
	-	F21000000-F21177776		
	-	F2B000000-F2B177776		
	-	F2C000000-F2C177776		

 接続機器のマニュアルでは、リレーおよびタイマ・カウンタ(現在値)(B)のワードアドレスに括 弧内の値を使用しています。入力時には、AXXXX あるいは BXXXX を使用してください。

2 ファイルレジスタはファイル番号とアドレスによって構成されています。



● システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
 参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用)」
 ● 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
リレー	А	0080	ワードアドレス
	Т	0060	ワードアドレス
ダイマ・カワンダ(現仕値)	В	0061	ワードアドレス
	09	0000	ワードアドレス
	19	0001	ワードアドレス
	29	0002	ワードアドレス
	39	0003	ワードアドレス
	49	0004	ワードアドレス
	59	0005	ワードアドレス
	69	0006	ワードアドレス
	79	0007	ワードアドレス
	89	0008	ワードアドレス
	99	0009	ワードアドレス
	E0	000A	ワードアドレス
	E1	000B	ワードアドレス
	E2	000C	ワードアドレス
	E3	000D	ワードアドレス
	E4	000E	ワードアドレス
	E5	000F	ワードアドレス
	E6	0010	ワードアドレス
	E7	0011	ワードアドレス

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
	1	0012	ワードアドレス
	2	0013	ワードアドレス
	6	0017	ワードアドレス
	7	0018	ワードアドレス
	F10	0019	ワードアドレス
	F11	001A	ワードアドレス
ファイルレジスタ			
	F1E	0027	ワードアドレス
	F1F	0028	ワードアドレス
	F20	0029	ワードアドレス
	F21	002A	ワードアドレス
	F2B	0034	ワードアドレス
	F2C	0035	ワードアドレス

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のよう に表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器 の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数): MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「10 進数[16 進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード: 1[01H])」

MEMO	 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	 ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「エ
	ラーが表示されたら(エラーコード一覧)」を参照してください。

接続機器特有のエラーコード

接続機器特有のエラーコードは、以下のようになります。

エラーコード	説明
0x01	フォーマットエラーです。
0x07	接続機器のメモリへの書込みが正しく実行されていません。
0x0A	パリティエラーです。
0x0B	フレームエラーです。
0x0C	オーバーランエラーです。
0x0D	サムチェックエラーです。
0x0F	他の CPU がメモリにアクセスしています。
0x1B	システムメモリエラーです。